

中国・上海で十勝産品を販売する初の常設店「遊食園」を2月上旬に開店する。常設店は新たに開業する百貨店の地下1階に開く。販売するのは柳月(音更)の代表銘菓「三方六」、デリカフタラーナ(冷凍ブリュームなど)、大望(幕別)のアイスクリームなど。今後、海産物の加工食品も扱う予定だ。店内には試食コーナーを設け、来店者には日常的に商品の味を楽しんでもらう。また月に1回、4社のうち長く愛されるように、企業の理念や十勝の文化も売り込んでいきたい」と意気込んでいる。

まず柳月など4社20品

初の常設店 観光客誘致も期待

設け、来店者には日常的に商品の味を楽しんでもらう。また月に1回、4社のうち長く愛されるように、企業の理念や十勝の文化も売り込んでいきたい」と意気込んでいる。

味な商品 中国・上海で発信



上海で扱う商品を前に「企業の理念や十勝の文化も伝えたい」と話す森社長



生産者とのトーク交え魅力PR

おいしい十勝 海外客に

十勝産食材を使用したさまざまな料理を味わえるイベント「ウィンターグルメフェスタ」が、上川管内占冠村の大型リゾート施設「星野リゾート・トマム」で2月28日、3月1日の2日間、初開催される。十勝の農業生産者約20人が参加し、道内有数の観光地で海外客にも地場食材の魅力をPRする狙いだ。

(後藤真)

来月末、トマムで初イベント

札幌の飲食店のシェフや経営者15人でつくる「北海道アグリキャラバン」主催。昨年10月にメンバーが十勝を訪問、多くの農家と交流したことがきっかけで企画した。

生産者が屋外で料理を直接販売する「十勝フードコミュニケーション」を28日午後5時~9時、1日午前11時半~午後1時半に行う。十勝産小豆のお汁粉、ジャガイモ

もち、焼きユリ根などを生産者と会話を楽しみながら味わえる。農業女性による野菜の即売会も1日午前9時~午後2時に開く。

アグリキャラバンの代表で、札幌で居酒屋などを経営する田村準也社長は「十勝の農畜産物は道内外から人気が高い。トマムは外国人観光客が増えており、食材のおいしさを海外にも伝えるチャン

ス」と意気込む。

28日午後6時半からの「十勝グルメエキシビジョン」は、道内の一流料理人と生産者がトークを交えながら洋風料理を振る舞う。参加する折笠農場(幕別町)の折笠健さん(46)は「これだけ大勢の農家が管外の観光地で一緒にPR活動をするのは珍しい。販路拡大につながれば」と話す。

エキシビジョンは有料で事前予約が必要。定員150人。申し込みは28日から予約受け付けセンター 0167・58・1122、イベントの問い合わせは星野リゾート・トマム広報 0167・58・1013へ。

小豆のお汁粉、焼きユリ根など直売

人口減少時代に対応した地域振興のあり方を考えよう、帯広商工会連合会が勉強会を開き、有識者らを招いた講演会などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元経済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元絏済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。

勉強会の設立は、人口減による会議などを開き地元絏済界に統一的な取り組みを検討していく。第一弾として24日、市内で講演会を開く。